

志賀原子力発電所 1 号機原子炉隔離時冷却系の復旧について

本日（5月14日）午前11時30分に、北陸電力㈱から、原子炉隔離時冷却系^{*}
¹の不具合が復旧したと連絡があった。

北陸電力㈱からは、

- ①原因は、不具合が発生した弁本体に付属しているリミットスイッチといわれるスイッチが一時的に接触不良となったこと。
- ②スイッチの接触不良が無くなった後、20回の開閉動作試験を実施した結果、正常に動作していることが確認されたこと。
- ③この弁の動作確認及び原子炉隔離時冷却系の復旧は、国の保安検査官の立会のもと確認されたこと。

が報告された。

この連絡を受け、県では関係町と共に立入調査を実施し、

- ①当該リミットスイッチの接触不良復旧状況
- ②この不具合発生後の、対応状況
- ③弁及び原子炉隔離時冷却系の動作確認状況
- ④接触不良の再発監視措置

について確認を行った。

（参考）立入調査時間	午後1時～午後2時
立入調査者	県2名、志賀町2名、富来町1名

^{*}¹ 原子炉隔離時冷却系・・・格納容器の外部の配管で漏洩があった場合、原子炉と格納容器の外部とを切り離すが、この場合の原子炉の冷却を行う系統。

参考：北陸電力HP <http://www.rikuden.co.jp/news/04051401.pdf>

平成16年5月14日 原子力安全対策室 (直通) 076(225)1465 (県庁内線) 4234
--